

こんなにカンタン!

DX はじめの一步!

業務効率化につながるとして話題の「DX(デジタルトランスフォーメーション)」。DXのはじめの一步として、カンタンで取り組みやすい「デジタル化事例」を紹介します。



IT点呼[※]篇

IT点呼とは、IT機器(TV電話やスマートフォン、タブレットなど)を用いて行う「疑似対面点呼」のことです。ドライバーは場所を問わず、深夜・早朝でもIT点呼アプリがインストールされたスマートフォンを使い点呼を受けられます。またスマートフォンと接続して使用できるモバイル(携帯)型のアルコール検知器もあり、業務効率化と安全性向上を両立します。

※IT点呼を実施するためには、点呼者の所属営業所とドライバーの所属営業所が共にGマーク(安全性優良事業所認定)を取得している必要があります。未取得の営業所でも、一定の条件を満たすことで一部実施が可能です。

Step1

スマホとアルコール検知器を用意

TV電話サービスやアルコールを検知するアプリがインストールされたスマートフォンと、それに接続できるアルコール検知器を用意。



Step2

PCもしくはタブレットを用意

ドライバーからの報告を受けられるよう、TV電話サービスアプリがインストールされたPCなどを用意。



Step3

IT点呼開始

遠隔地にいるドライバーと営業所の点呼者とが、映像と音声でつながり点呼を実施。点呼者は健康状態やドライバーから転送されてきたアルコール濃度を確認し、問題がなければ点呼終了。



メリット1

深夜・早朝でも確実な点呼が可能

24時間体制の営業所にいる点呼者が、深夜でも早朝でもIT機器を通じて点呼を行います。



メリット2

ドライバー・点呼者の労働時間を短縮

営業所と車庫が離れていても点呼が行えるので、移動時間が減らせ労働時間の短縮につながります。



メリット3

新型コロナウイルスなどの感染症予防

点呼を非対面で実施できるため、感染症のリスクを低減できます。



今後の号でも、カンタンで取り組みやすい「デジタル化事例」を紹介していきます!